

患者さんへ

「生成 AI を用いた次世代 Tumor board 構築に向けた、 AI 提案治療の臨床的妥当性および安全性に関する後方視的観察研究」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2025 年 6 月～2025 年 12 月の間に当院で化学療法の適応となると判断されたがん患者さん
2 研究目的・方法	<p>研究の目的:近年、がんの治療法は高度化・複雑化しており、患者さんごとに最適な治療を決定するための「Tumor board」の重要性が高まっています。本研究は、最新の生成 AI(大規模言語モデル)に患者さんの個人を識別することができないように加工された臨床情報を提示し、AI が Tumor board の決定と同等に適切で安全な治療方針を提案できるかを検証するものです。</p> <p>本研究の結果より、将来的に AI が医師の初期検討をサポートすることで、より迅速かつ質の高い医療を提供できる体制の構築を目指します。</p> <p>研究の期間:施設院長許可後(2026 年 5 月予定)～2026 年 10 月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	<ul style="list-style-type: none">● 患者さんの基本情報(年齢、性別、全身状態、既往、過去の治療歴など)● 腫瘍に関する情報(がんの種類、進行度・ステージ、遺伝子検査結果など)● 治療に関する情報(過去の治療歴、Tumor board で決定された治療内容など)● 臓器機能や併存疾患に関する情報(腎機能、既往歴など) <p>※患者さんの氏名、生年月日、カルテ番号、住所など、個人を直接特定できる情報は一切使用いたしません。</p>
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者：堀越 俊彦（東京西徳洲会病院・薬剤部 副主任） 住所：東京都昭島市松原町 3-1-1 連絡先：042-500-4433（病院代表）</p>
-----------	---

2026年3月30日作成（第1.0版）